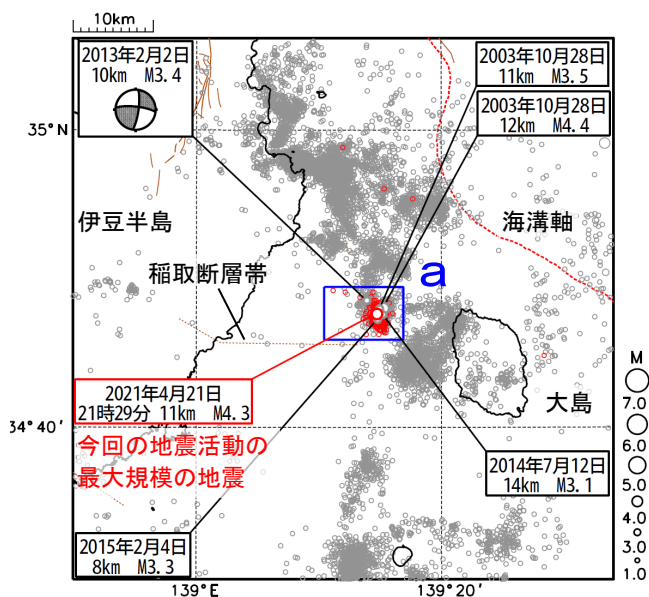


伊豆大島近海の地震活動

震央分布図
(1997年10月1日～2021年4月30日、
深さ0～30km、 $M \geq 1.0$)
2021年4月1日以降の地震を赤色で表示

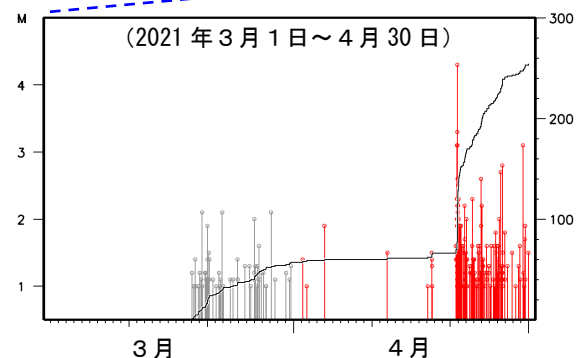
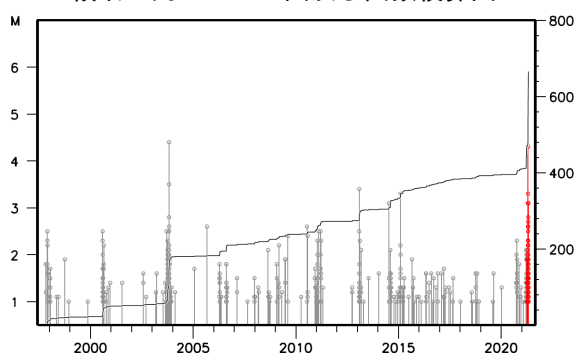


震央分布図中の茶色の細線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を、赤色の破線は海溝軸を示す。

2021年3月18日から伊豆大島近海（領域a）で地震活動が活発になり、震度1以上を観測する地震が、3月中は1回（22日に最大震度1）、4月中は18回（最大震度3：3回、最大震度2：5回、最大震度1：10回）発生した。いずれの地震も、フィリピン海プレートの地殻内で発生した。このうち最大規模の地震は、4月21日21時29分に深さ11kmで発生したM4.3の地震（最大震度3）である。

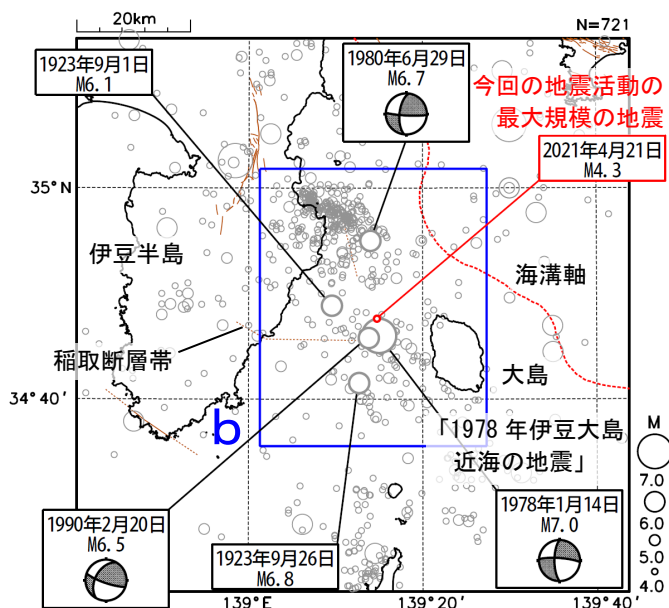
1997年10月以降の活動をみると、領域aでこれまでにM4.0以上の地震は、2003年10月28日に発生したM4.4の地震（最大震度3）のみである。

領域a内のM-T図及び回数積算図



1919年以降の活動をみると、今回の地震の活動域の周辺（領域b）では、1978年1月14日にM7.0の地震（最大震度5、「1978年伊豆大島近海の地震」）が発生し、死者25人、負傷者211人、住家全壊96棟などの被害が生じた（「日本被害地震総覧」による）。また、この地震により、伊豆大島岡田で70cm（全振幅）の津波を観測した。

震央分布図
(1919年1月1日～2021年4月30日、
深さ0～50km、 $M \geq 4.0$)
2021年4月1日以降の地震を赤色で表示



震央分布図中の茶色の細線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を、赤色の破線は海溝軸を示す。

領域b内のM-T図

